

野田市立あすなろ職業指導所指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年5月30日（火）午前11時20分から午前11時40分まで
開催場所 市役所 2階 中会議室1
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、保健福祉部長、
行政管理課長、管財課長、障がい者支援課長
欠席委員 なし
事務局 障がい者支援課、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

平成28年度野田市立あすなろ職業指導所業務報告書及び平成29年度野田市立あすなろ職業指導所業務計画書の審査について

＜事務局より平成28年度野田市あすなろ職業指導所業務報告書及び平成29年度野田市立あすなろ職業指導所業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

○報告書3ページの6有効な生活介護の提供（1）生活介護のための取組において、商品開発に力を入れることを目指しているが、新たに開発した商品はあるのか。

→パン、お菓子部門では、ワッフルやシフォンケーキ、また米粉を使用した米粉パンなどの商品を追加した。織物製品部門では、エコバック、携帯ストラップ、Tシャツを新たに商品化した。

○報告書14ページの収支状況報告書（1）収支状況①収入の作業収入（生活介護）が、110万1,269円減となった理由は何か。

→生活介護の作業収入の減額は、織物作業が昨年度より就労継続支援B型へ移行したことが主な理由である。この他、生活介護、就労継続支援B型ともに利用者の高齢化に伴い、生産量が減少している。さらに、内職作業単価も下がっている。

○報告書11ページの（7）事故、要望及び苦情対応状況について、施設の老朽化に伴う修繕は、市で対応を検討してもらおうとし、小規模な修繕は施設で対応しているが、利用者に説明し、納得されているのか。

→保護者会には、市の担当者を通じて施設の老朽化に伴う修繕の要望は行いうが、修繕における優先順位などから、サービスの質の低下につながらないよう、市と協

議を行い対応していくと説明し、了承を得ている。

○報告書5ページの11(3)人材育成の取組について、「職員の職場での問題や不安を、管理者が把握し相談できる体制づくりを行いました。」とあるが、その具体的な効果は何か。

→支援に対する疑問や、職場内における人間関係の悩みなど、些細なことでも直接相談してくれるようになり、職員会議等でも意見交換を活発に行う環境になってきている。

○計画書6ページの平成29年度から主任支援員を配置しているが、どのような職務なのか。

→主任支援員は、直接の支援の他に、主に家族への要望の聴き取りや支援員のシフトの管理、他機関との連携、調整などを行う支援員の中心的な役割を担う。また、新任職員に対する指導や教育も行う。

○計画書3ページの6(1)生活介護のための方策等において、クラブ活動の実施とあるが、どのようなクラブがあるのか。また、指導する職員体制、利用者の評判はどうか。

→クラブ活動の種類は、グループでは、園芸、ペン習字、創作、運動及び手芸の5種類、全体クラブは、カラオケとダンスの2種類である。指導する職員は、各クラブ2名体制とし、そのほかにボランティアの手伝いもある。利用者からは、クラブを楽しみにしているとの声をいただいている。

○計画書6ページの(5)人員配置について、実務経験の少ない職員、特に0か月の職員に対する指導、研修の内容及び支援体制について伺いたい。

→実務経験の少ない職員に対する支援体制等については、まず、法人主体の新人職員研修を7月に2回実施する予定である。また、現場においては、管理者及び主任支援員がOJT(職場訓練)の中で指導及び教育に当たっている。

○計画書3ページの7(1)パン製造にあたっての衛生管理の方策について、食品衛生責任者を置きとあるが、誰が食品衛生管理責任者となっているのか。

→あすなろ職業指導所所長が食品衛生管理責任者である。

<審議の結果>

平成28年度野田市あすなろ職業指導所業務報告書及び平成29年度野田市あすなろ職業指導所業務報告書について承認

3 閉会